

平成22年第2回周南市議会定例会一般質問通告一覧表
(平成22年5月31日～6月3日)

1 得重謙二（刷新クラブ）

1 学校教育における電子黒板の積極的活用について

- (1) 新年度から使用するに当たり基本的な使用方法と考え方は。
- ア どういったときに。
 - イ どういった内容を。
 - ウ どれくらいの頻度で。
- (2) 積極的な活用を期待するが、策は。

2 動物園リニューアル事業について

- (1) リニューアル基本計画のコンセプトは。
- (2) 市民に愛され誇りの持てる動物園を市民参加によってつukれないか。
- ア 安全を考慮した上での工事や清掃作業への参加
 - イ JAや食料品店における規格外品や余剰品などを、動物のえさとして提供してもらう方策を。

2 坂本心次（顕政会）

1 めくもりのある地域のいのち育む里づくりについて

- (1) いのち育む里づくりとして、生活交通の基盤整備が必要だが、市長の見解は。
- ア いのち育む里の公共交通の維持・確保を市長はどのように考えているか。
 - イ 環境保全や事故防止の視点から、公共交通機関の利用を啓発することが必要ではないか。
 - ウ 乗り合いタクシーの利用状況を問う。
 - エ スクールバスの混乗により、効率的な運行ができるのではないか。

3 立石 修（顕政会）

1 周南市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画について

- (1) 恋路クリーンセンター、周陽環境整備センター、ごみ燃料化施設について
- ア 耐用年数等から、燃やせるごみ施設の統一化について、現時点での考えは。
 - イ 統一化により、ごみ処理にかかるコストの削減が図れるのではないか。
 - ウ 現有施設で、環境問題への取り組みが十分になされているのか。
- (2) 3つの基本方針「発生・排出削減の推進」「再資源化の推進」「適正処理の推進」について
- ア 平成26年度の家系ごみの排出量目標値1日1人当たり690グラム、事業系ごみ1日当たり38トンに設定した理由は。
 - イ 生ごみ処理機購入時の補助金を増額して、ごみの減量化を積極的に推進すべきではないか。
 - ウ クリーンリーダー設置の自治会数をふやし（加入率100%を目標）、リーダーを通じて、ごみ問題の重要性を市民に浸透すべきではないか。
 - エ 分別収集による再資源化を推進するとあるが、分別されていないごみや収集日以外に出されたごみの対策をどう進めるのか。
 - オ 分別方式や収集運搬体制の統一はどのようになるのか。
 - カ 周南市不燃物処分場からN7号処分場への移行は、スムーズにいくのか。

- キ ごみ処理基本計画では、CO₂の排出量削減をどの程度見込んでいるのか。
- ク ごみ処理費用負担（有料化）導入をさらに進めていく方向で検討するのか。

4 田中和末（刷新クラブ）

1 介護保険制度について

- (1) 介護保険制度が導入されて10年が経過した。導入時の理念として、「家族介護から介護の社会化へ」「措置制度から契約制度へ」「行政のサービス提供から民間活力の活用へ」が掲げられた。今日の制度について、その理念に沿った内容となっているか。過去10年間の制度の検証が必要ではないか。
- (2) 今後の課題と事業展開について
 - ア 介護療養型医療施設の廃止に伴う施設整備を初め、施設入居待機者、介護労働者の確保、同居家族がいる場合のサービスの制限に対する対応、成年後見制度など、多くの諸課題にどのように取り組んでいくのか。
 - イ 新政権下における介護保険政策と本市の対応は。

2 小零細事業者の育成と地域経済の活性化について

- (1) 「住宅リフォーム助成制度」「小規模工事等契約希望者登録制度」の創設、導入を。

5 西林幸博（刷新クラブ）

1 浄化槽設置における新制度について

- (1) 新たな水洗化推進制度が26年度まで実施されることは評価する。しかし、浄化槽設置が敷地条件で難しい場合の集落整備事業はどのように改善するのか。
- (2) 合併浄化槽は槽の大きさで維持管理費が固定される。居住人員によって維持管理費が増減する公共下水・集落排水のようにバランスのとれた制度に改善すべきと考えるが、いかがか。

2 徳山動物園リニューアル事業について

- (1) 子供たちに夢を与え、動物愛護精神をはぐくむ大切な施設であり、これまでの取り組みは評価されると考える。観光立市を目指し観光客増を目指していることも理解できるが、競艇事業で潤っていた環境はなくなり、法人市民税も今年度は3分の1になるなど、財政的に余裕があるとはいえない。
 - ア 過去の動物園費歳入歳出状況は。
 - イ 23年度着工予定のリニューアル事業の概算算定額は。
- (2) 動物園健全運営をどのように考えているのか。
- (3) 財政面から見て、一時的でも多額の予算をつぎ込む限度額は幾らと考えるか。
- (4) 全国的な動物園・水族館ブームであるが、いずれも厳しい財政状況である。動物園を周南市だけで維持することへの対策は。

6 土屋晴巳（新政会）

1 柵田保全に対する取り組みについて（「やまぐち柵田20選」認定を受けて）

- (1) 「やまぐち柵田20選」に本市から5地区（井谷地区・大道理鹿野地地区・小畑地区・四郎谷地区・中須北地区）の柵田が認定された。本市の基本的姿勢について問う。
 - ア 本市が進める「いのち育む里づくりプロジェクト」との関連は。

- イ 中山間地域指定以外の地区（井谷地区・小畑地区・四郎谷地区）の位置づけは。
- ウ 継続的保全、保全整備に向けた施策は。（短期・中期・長期）
- エ 棚田地区の広報活動は。

2 小中学校の机、いす（児童・生徒用）の整備・更新について

- (1) 「傷みぐあい」を把握されているのか。
- (2) 整備・更新実績は。
 - ア 予算と実績
 - イ 更新基準はあるのか。
- (3) 補修体制はどのようになっているのか。

3 幼稚園、保育所の今後のあり方について

- (1) 「周南市就学前児童通園施設の今後の在り方」の示すところは何か。
 - ア 施設集約が目的なのか、幼保一体化が目的なのか。
 - イ 民間活力の活用とは。
 - ウ 地域性によるニーズの違いを把握されているのか。
- (2) 公立幼稚園において3年保育の視点はないのか。
- (3) 今後のスケジュールは。

7 岩田淳司（参輝会）

1 「AEDマップ」の推進について

- (1) 市所有AEDの現在までの配備状況と使用状況は。
- (2) 市内の民間施設の所持状況の把握はどうか。
- (3) 協力いただける民間施設を掲載した「AEDマップ」を作成し、ハザードマップのように地区ごとに家庭配布してはどうか。

2 「広報しゅうなん」の有効な配布について

- (1) 現在の配布状況は。（配布方法・場所）
- (2) どの世帯・世代に主に読まれているか把握しているか。また、これが市情報源として受け手側にどれくらい活用されているか把握しているか。
- (3) 通常では入手されない世帯への配布努力は、どのようにされているのか。

3 「周南市歴史博士検定」の発展について

- (1) 昨年の初企画としての出発から、今後へ向けての目標はどのようなものか。
- (2) この検定は、私たちのまち周南に対する郷土愛をはぐくむため非常に有意義なものと思うが、観光立市という観点から見た場合の発展性が何か考えられないか。
- (3) 検定合格者には歴史検定ゆかりの施設への入場料減免などの御褒美を考えて、受験者のより一層の動機づけを図ってはどうか。

8 小林雄二（刷新クラブ）

1 核兵器の廃絶と恒久平和実現に関する要望決議について

- (1) 去る3月25日に周南市議会として、核兵器廃絶と恒久平和実現のための積極的な取り組みと具体的行動への要望決議を行ったが、このことに対する具体的指針を問う。
- (2) 周南市は平成17年6月に非核平和都市宣言をしており、広く市民に訴えるモニュメント等の

設置は考えられないか。

2 水道ビジョンに伴う設備の耐震化計画について

- (1) 災害時におけるライフラインとして、水道水の安定確保は重要で、水道管等設備の耐震化について地域格差が浮き彫りとなっているようだが、現状及び耐震化計画はどうか。
- (2) 老朽量水器の取りかえの計画的実施並びに周知方針はどうか。

3 新しい学習指導要領と学校再配置計画について

- (1) 学校再配置計画の中で、新しい学習指導要領への対応を検討されているか。
- (2) 指導要領の先行実施と全面実施のタイムスケジュールは。
- (3) 新しい学習指導要領の実施と学校再配置計画実施が重複し、教育上の混乱は生じないか。

9 徳原尚一（参輝会）

1 周南ものづくりブランドについて

- (1) 周南ものづくりブランドに認定されたものについて、市は全面的なバックアップが必要ではないか。
- (2) 平成21年度に認定されたデザインフィット工法を積極的に市の公共施設の耐震化工事に取り入れ、その成果を全国的に発信できないか。

2 ごみの分別について

- (1) リサイクルプラザ開設に伴い、市民に分別の協力を求めることになる。「ごみを分別すれば資源になる」ことから、まず、ごみを分別するとどのような資源になるかを、市民によく周知することが大切ではないか。

3 いのち育む里づくりについて

- (1) 中山間地域と同じ課題を持つ西部地区など対象区域外地域には、どのような支援を考えているのか。
- (2) ふるさと振興財団との連携はあるのか。

4 災害の対策は

- (1) 平成21年7月の豪雨災害から、災害に強い周南市を求められているが、この間、本市がどのような対策をとってきたか、市民に周知する必要があるのではないか。

5 適正な予算執行について

- (1) 他市において不正経理が問題となっているが、本市の予算執行は適正に行われているか。

10 長嶺敏昭（参輝会）

1 財政健全化とランニングコストについて

- (1) 今後建設予定の大型公共施設の維持管理費の増大が、将来財政を圧迫しないか。
 - ア 「周南市健全財政推進計画」には織り込み済みか。平成26年度以降の財政への影響は。
 - イ 新規施設には、将来の歳出削減を念頭に、思い切った省エネ対策が必要と考えるが、どうか。
(太陽光、風力、雨水利用、省エネ器具、断熱建材等)
 - ウ 省エネ対策事業(有利な起債を活用)について、初期投資で生じる財政負担と維持管理費におけるコスト縮減効果のバランスをどう考えているか。
- (2) 施設のランニングコスト縮減のための基本理念や指針を細かく文書化した(仮称)経費削減のための基本計画を策定して、新規施設の建設実施設計に反映させるべきではないか。

- (3) 今後の新規事業でのアウトソーシングや財源確保は。
- ア 外部委託による事業展開が考えられるものは何か。
 - イ テナント収入が見込まれるものは何か。
 - ウ 広告収入・ネーミングライツが考えられるものは何か。
 - (ア) 観光案内・広報効果プラス広告収入のために、新しい徳山駅前広場に大型ディスプレイの設置は考えられないか。
- (4) 「周南市版事業仕分け」が検討されているが、各既存施設のコスト仕分けをすると無駄や将来の対策が見えてくるのではないか。
- ア 「健全財政推進計画」に歳出削減の目標数値とともに公共施設の維持管理費の圧縮とあるが、どういう手法か。
 - イ 全体の数値目標も必要だが、個別事業、個別施設、第三セクター、外郭団体ごとの削減目標を数値化しての取り組みがコスト意識につながると思うが、どうか。

2 いのち育む里づくりについて

- (1) 新組織ができたが、活動や計画の進捗はどうか。
- ア 各部署に兼務職員がいるが、連携の状況はどうか。
 - イ 鹿野地区でのモデル事業の主要なもの、考え方を明示してほしいが、どうか。
 - (ア) 箱物行政が批判されるならば、かけがえのない農地の利用しかない。3月議会で紹介した5ヘクタールの優良農地の活用に民間企業参入も含め、先進的取り組みを。
 - (イ) 作物を産するだけでなく、若者雇用や障害者雇用、観光面、健康づくりの視点での取り組みに期待するが、どうか。
 - ウ 「地域の夢プラン」作成などには、「自助」「共助」を引き出すため、最初に「公助」が必要と思うが、どう取り組むか。
 - エ 過疎地域自立促進計画策定の進捗状況はどうか。
 - (ア) ハード面
 - (イ) ソフト面

1 1 青木義雄（参輝会）

1 子ども手当について

- (1) 子ども手当制度が始まる。国会で議論し決定したことなので地方自治体は粛々と執行しなければならないが、対象となる市民生活の影響をかんがみると地方議会でも議論は不可欠である。
- ア 市長にこの制度の基本的な認識を問う。
 - (ア) 子供を社会全体で育てるという考えからバラマキという批判まで賛否両論あるが、どうとらえているか。
 - (イ) 従来の児童手当の地方負担分を財源の一部としていることを、どう認識しているか。
 - イ 周南市の状況を問う。
 - (ア) 対象者数及び申請が必要な新規の対象者数と、その申請状況は。
 - (イ) 趣旨を踏まえた使われ方の周知が重要である。例えば給食費などの滞納の解消など。どう理解を広げていくのか。
 - ウ 子ども手当・高校無償化の制度と相まって、年少扶養控除（15歳まで）が廃止、特定扶養控除（16歳から18歳まで）が縮減される。そして、平成23年分から所得税に、平成24年

度分から住民税に適用される。

- (ア) 所得税増税で影響を受けるものは何か。
- (イ) 住民税増税で影響を受けるものは何か。
- (ウ) 世帯で異なるが、家計への影響がどう及ぶのか。
- (エ) 支給と扶養控除の見直しをセットで周知していく必要があるのではないかと。

2 山口国体について

- (1) 2011年山口国体開幕まで500日を切った。これまでの進捗状況や今後の取り組みを問う。
 - ア ハード整備面・ソフト面を含めた、これまでの進捗状況は。
 - イ 今年度開催のリハーサル大会で機運を高めていくことが肝要だが、それを踏まえて本大会に向け、今後どのように取り組むのか。

1 2 金井光男（公明党）

1 デイジー教科書の普及促進対策について

- (1) 教科書バリアフリー法改正によりデイジー教科書が作成できるようになり、さらに本年著作権法が改正施行され文科省検定教科書もデイジー教科書として活用できるようになった。本市においては、どのような対応をされているか。
- (2) 電子黒板導入など環境整備は進んでいるが、今後の整備計画は。
- (3) ICT教育やマルチメディア・デイジーの活用を進めるためには、教職員の機器活用や新たな指導方法・研修が不可欠であると考えているが、その認識と今後の計画は。

2 視覚障害者情報バリアフリー化対策について

- (1) 本市における音声コード読み上げ機器の整備状況は。
- (2) 本市発行書類の「音声コード」つき書類はどの範囲か、現状と課題は。
- (3) 職員に対する「音声コード導入研修会」等の実施状況は。
- (4) 携帯電話実機搭載対応のスタンスは。

3 自殺予防対策としてのうつ対策について

- (1) 市長は「自殺ゼロ」を標榜されておられるが、本市における自殺対策の現状と課題は。
- (2) 市民と接する窓口対応職員への研修など、対策について現状と課題は。
- (3) 教育現場での対策は。
- (4) 医療分野での対策は。

1 3 清水芳将（新政会）

1 地域包括支援センターの現状と今後について

- (1) 周南市は4地域包括支援センターすべてを外部委託しているが、そのメリットとデメリットは。
- (2) 地域包括支援センターへの相談件数、内容は。
 - ア 虐待に関する相談件数とその内容は。
 - イ センターから専門家（医師・弁護士等）へ相談する件数は。
- (3) 市と地域包括支援センターとの連携体制は。
 - ア 市と4センターとの連携、4センター同士の連携は。
 - イ 市職員として社会福祉士を配置すべき。
- (4) 地域包括支援センターの業務内容、場所をもっと市民に周知してもらおうべき。

- ア 増設は検討しないのか。
- イ 愛称や通称を募集してはどうか。

2 市長への政策提言箱制度について

- (1) 提言件数とその内容は。
 - ア 提言の中で提言者へ回答されたもの、また政策として検討されたものはどれくらいあるのか。
 - イ 提言の内容を、類似のものも含めて、ホームページ等で紹介してはどうか。

1 4 反田和夫（公明党）

1 図書行政について

- (1) 子供たちが読書と親しむ環境づくりを。
 - ア 平成20年に周南市子ども読書活動推進計画が策定されているが、現在までどのような取り組みがなされたか。
 - イ 小中学校別で学級数に応じた蔵書数が設定されているか。
- (2) 図書館の利便性を高めるため、駅や総合支所、また支所等に図書返却ポストを設置することはできないか。
- (3) 移動図書館は、遠隔に住む方のサービスや交通弱者、また障害者の方へのサービスに、どのように努めているのか。
- (4) 移動図書館の車体を広告媒体として利用することはできないか。

2 薬物乱用防止対策について

- (1) 本市の薬物汚染の現状は。
- (2) 本市における取り組みは。
- (3) 学校教育で、実効性のある薬物乱用防止対策はどのようになされているのか。
- (4) 各学校で薬物乱用防止教室の開催はなされているのか。

3 障害者に優しい広報について

- (1) 周南市広報番組（市政だより）に、字幕の挿入や手話画面の作成はできないか。

1 5 長谷川和美（至誠会）

1 新学校給食センターの安心安全は

- (1) 進捗状況と供用開始は。
- (2) 食の安心安全をどう担うか。
- (3) 民間委託の検証と、課題は何か。
- (4) 12カ所の新学校給食センター建設基本計画に変更はないか。

2 365日型配食サービスの充実を

- (1) 配食サービスの目的と市の担う責務は何か。
- (2) 障害者サービスと高齢者サービスの違いは。
- (3) 利用できない場合と利用できる場合の基準の違いは。
- (4) サービスへの不服申し立ての現状と対策は。

1 6 高松勇雄（民主の会）

1 いのち育む里づくりについて

- (1) “いのち育む里づくり”部の目的は何か。具体的に施策として何をするのか。また、タイムテーブルはどうなっているのか。
- (2) 対象となる地域は。大島・粕島は対象地域とならないか。
- (3) 目的の達成・成果は、何をもってはかるのか。

2 特産品の開発・加工・販売を担当する課の設置について

- (1) 現状で、特産品の開発・加工・販売を担当している課はどこか。
- (2) 特産品加工センターの建設及びC A S冷凍装置の設置ができないか。
- (3) 特産品の開発・加工・販売を専門に担当する課の設置ができないか。

3 青少年の健全育成について

- (1) スポーツを通じて青少年の「からだ」と「こころ」を育てる組織を地域社会の中に根づかせることで、青少年の健全育成を図る。この観点から、所得のない子供たちが構成するスポーツ少年団・クラブ活動・地域子供会等青少年利用について、使用料・利用料・照明料等全額免除にし、諸団体の育成に寄与できないか。

17 炭村信義（民主の会）

1 市長の政治姿勢について

- (1) 浄化槽設置費補助金の補助額を市内業者の施工のみ増額したことについて
 - ア 結果的に市内特定業者のみに現金を支給するような保護主義をなぜ行うのか。
 - イ 他市や市内他業種との関係もあり、政策の基本的変更は条例で決め、公平・公正性の確保をすべき。

2 指名停止措置について

- (1) 周南市ごみ燃料化施設の管理業務を受託している業者に対し、契約違反及び不正または不誠実な行為があったとして指名停止措置がされた。
 - ア 指名停止開始日及び期間の決定基準は。
 - イ 措置の目的は。
 - ウ 目的は達成されるのか。

18 森重幸子（公明党）

1 子育て支援について

- (1) 新1年生にセカンドブックをプレゼントする「セカンドブック」事業で、自分読書の始まりを。
- (2) 児童虐待の現状と、防止対策としてどのような取り組みをしているか。

2 市営住宅について

- (1) 政策空き家の現状と、今後の建てかえ計画は。
- (2) 住みかえ制度の拡充対策として、政策空き家も対象に加えられないか。
- (3) 結露などによる内壁カビ発生の実状と、その補修工事が必要な住宅戸数の調査は。
- (4) 随時用・定期用の併用による申し込み方法の統一化は、どのように考えているのか。

19 小坂玲子

1 里山への定住促進の発信とサポートについて

- (1) 周南の自然を生かした里山暮らしのよさを、都会に住む若者や家族に積極的に発信し、定住促

進を図り、過疎化に歯どめをかけることはできないか。本市の現況と今後の取り組みを問う。

ア 定住者受け入れのための経済的支援や、環境整備のサポート窓口機能の充実を図れないか。

イ 里山を持つ地域ごとに定住アドバイザーを設置することで、より細かなバックアップを検討できないか。

2 西部道の駅について

(1) 一体型道の駅の開業に向けて、今後地元を初め市民全体とのかかわりをどのように構築していくのか。具体的な今後の展開、構想を説明すべきではないか。(オープンに向けて、市民と夢を共有するためにも)

(2) 道の駅運営組織の支配人(仮称)等は、経営・運営能力のある人材を民間から求めるために、全国から公募することはできないか。

2 0 吉平龍司(公明党)

1 若年者の就職活動支援

(1) 本市での未就職新卒者の実態は。

(2) 若者向けの就職相談窓口であるジョブカフェや若者自立塾など、深刻化する就職難への市独自の就労支援戦略があってもいいのでは。

(3) 訓練・生活支援給付制度が新創設されたやに聞くが、市民への周知について

2 老人日常生活用具等の給付事業

(1) 現行の防災に関する用具の給付費目と対象給付要件について

(2) 年次的な給付実績

(3) 給付対象者への周知と申し込み相談窓口は。

3 周南緑地公園の整備

(1) 交通教育センター

ア 施設整備や備品管理は十分か。

イ 周南市全域の人を対象にした施設ではないのか。

(2) 西緑地公園について

ア 森林セラピーロード基地への研究時期ではないか。

イ 公園を起点にした「緑の案内人」システムの考察を。

2 1 形岡 瑛(日本共産党)

1 徳山動物園リニューアル事業について

(1) 周辺地域の住民生活への配慮を具体的にすべきではないか。

ア におい、騒音(鳴き声、車)

イ 三田川市住跡地に整備する駐車場用地に、集中豪雨対策の調整池を。

ウ 岐山通の延長線にある地域の整備は着手しないのか。

(2) 提示されている計画の変更について

ア 緩衝帯の設置

イ サバンナゾーンなど、「サファリ」のような施設にするスペースがあるのか。

ウ 里山エリアは、いのち育む里づくり事業や中山間地域での観光ツーリズムなどとの連携で考えるほうがよいのではないか。

2 「限界集落」への支援事業について

(1) “いのち育む里づくり”部の事業の留意点について

ア 予算化されているのが補助金交付であることについて

(ア) 地域の主体的な取り組みがあり、今年度有効活用できる見込みのあるところはどこか。

(イ) 補助金の消化自体が目的化されないように。

(2) 支援事業の具体的提案

ア 若い世代の移住・Uターンへの住宅補助

(ア) 新築・改修補助、空き家の提供など

(イ) 中須地区では農協跡地の活用（地元産木材を使用したグレードの高い市営住宅、もしくは宅地）

(ウ) 移住・Uターンなどで「過小規模校」への通学をする子供のいる家庭への優遇措置（学校統廃合はやめること）

イ 市道の整備

(ア) 地吉線

(イ) 奥畑秘密尾線

(ウ) 河上線

ウ 地域の伝統芸能継承・保存

(ア) 大津島の平家踊り、長持唄の学術調査を。

2.2 藤井直子（日本共産党）

1 公立保育所の民営化について

(1) 4月発行の「周南市就学前児童通園施設の今後の在り方」で、民間活力を活用するという考えを示されたが、以下について問う。

ア 保育所運営費の国庫補助金が一般財源化されたことを理由に挙げるのはなぜか。

イ 地方自治体の運営経費の負担が軽減できるとしているが、どのような経費が、なぜ軽減できるのか。

ウ 市内民間事業者とは、だれを想定しているのか。

(2) 株式会社の保育事業参入の実情は。

2 熊毛の上水道布設事業について

(1) 計画は。

(2) 総事業費と財源は。

2.3 中村富美子（日本共産党）

1 国保料の引き下げについて

(1) 医療保険制度における国保の位置づけをどのように考えているか。

(2) 無保険者についてどう考えているか。

(3) 保険料が高いのはなぜか。

(4) 22年度に保険料を5%、1人当たり5,260円の引き上げが行われた。引き下げるべきだ。

2 西部道の駅の場外舟券売り場の併設について

(1) 市は全国に例のない舟券売り場を西部道の駅に併設することを検討していることが報道された。

併設の目的は何か。

(2) 併設する場所、規模は。

(3) 土地は競艇事業部が購入するのか、それとも賃貸契約するのか。

3 戸田駅西側の市有地について

(1) 旧徳山市時代に戸田駅に隣接する土地を国鉄清算事業団から購入しているが、

ア 購入の目的、時期、金額は。

イ これまで利用に至らなかった理由は。

ウ 今後の利用計画は。

4 非核平和都市宣言のモニュメント建立について

(1) 周南市は非核平和都市宣言をしており、3月議会では核兵器の廃絶と恒久平和を求める意見書の採択をし、市長に対し要望決議をしている。目に見える形にするため、モニュメントの建立を提案する。

2 4 田村勇一（新政会）

1 選挙の開票及び投票所対策について

(1) 開票時間の短縮化について

ア 投票用紙の仕分け作業の効率化

イ 仕分け作業員の意識改革

(2) 投票所の投票立会に、20代の若い人の登用を。(公募による)

ア 若年層に選挙への関心を持ってもらうため。(現況は)

(3) 期日前投票所を、北部中心の須々万地区に設置を。

ア 期日前投票率が向上している現状を、さらに効率化と利便性を図るため。

(4) 投票時間の繰り上げ検討箇所の進捗状況は。

2 公立の幼稚園・保育園の民営化推進について

(1) 運営費の削減

(2) 民間活力の活用として

(3) 嘱託及び臨時保育士への対応

2 5 兼重 元（至誠会）

1 市長の政治姿勢を問う

(1) JC主催の「マニフェスト検証大会」を終えて、その意義と新たな思いはいかがか。

2 徳山駅周辺の浸水対策と市街地合流式下水道管の老朽化対策を問う

(1) 以前から指摘される懸案事項だが、その取り組み状況はいかがか。地上の構築物に関心が向きがちだが、重要な都市基盤を構成する施設であり、ないがしろにはできない。

3 我が故郷を知る方策を問う

(1) 「林忠彦賞」にあわせて、地元写真愛好家による「わが郷土を写す」と銘打って、周南市をズームアップ(街角、歴史的建造物、名所旧跡、旧・新比較の情景等)してはいかがか。